

Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 陣内秀信 | Hidenobu Jinnai



海を望む迷宮都市

織田裕二主演の映画のタイトルにもなり、話題を集めるアマルフィ。

中世イタリアの海洋都市として名を馳せたアマルフィは、

海に開く溪谷の狭い斜面にへばりつくように迫力ある斜面都市を形成した。

海の門から旧市街に入ると、高台に聳^{そび}えるイスラム風のエキゾチックな大聖堂の広場に躍り出る。

その背後には、路地が入り組む複雑極まりない立体迷宮空間が続き、光と闇の変化を演出。

上り詰めた高台から見晴らす壮大なパノラマは、まさに世界最高の絶景だ。

撮影：2003年

じんないひでのぶ——法政大学デザイン工学部教授

1947年生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士、工学博士。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学、ユネスコのローマ・センターで研修。現在に至る。主な著書：『イスラーム世界の都市空間』[共編著、法政大学出版局/2002]、『地中海世界の都市と住居』[山川出版社/2007]、『イタリア海洋都市の精神』[講談社/2008]など。